

---

# **左腕に十字架を……byながされて藍蘭島**

聖龍

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

左腕に十字架を……ぼくながされて藍蘭島

### 【Zマーク】

Z7691Z

### 【作者名】

聖龍

### 【あらすじ】

はい、と言つわけて始まりました

暖かい目で見てください

文才無いんですけど頑張ります

よろしくお願い致します

## 転生するひつじ（前書き）

始まりました、頑張ります

文才欲しいです

ではじめ

## 転生するひじい

俺の名前は鬼崎一真

今、俺の目の前には自称神様だと名乗る頭がイツてしまっているオッサンが居るこのオッサンが言つには

「」めんね～～～

僕の手違いで君は死んじゃったんだよ  
だからね、君には別の世界に転生して貰う  
訳なんだけど、その世界つて言つのがね  
『ながされて藍蘭島』の世界なんだよ  
何でその世界なんだ？って顔してるね  
実はね、その世界の資料にコーヒー溢しちゃってね、主人公である  
行人君が来なくなってしまった訳なんだよだからね、能力もつける  
からさ、  
行つてもらえるかな？」

だそうだ

このオッサン、本当に神様か？

まあいい、そのお陰で、転生出切るし  
前の世界には飽きてたし、ちょ'づどい

「んで、その能力つてのは、なにくれるんだ？」

「やつだね、まず、魔力と氣ね、氣の方は  
ネギまの氣とワンピースの霸王色の霸氣を合わせた感じね  
魔力と氣の強さだけ超チート級をあげる  
他には.....

武力なんだけど、まず、劍ね

劍と言つても、虛刀流なんだけどね、

ああ、でも殺しちゃあダメだよ？

あとは.....

身体と頭脳の限界点突破だね、これは鍛えればいくらでも上がるか  
らせ

まあ、今回は、これくらいかなあ？」

かなりチートだなこれ.....ん？

今回はつて言つたか？

まさかこのオッサン.....

「おいオッサン、お前今、今回はつて言つたよな？  
つまり、次があるつて事だよな？」

「ん？

君は察しがいいね

そうだよ、君にはここに来たついでに  
僕の助手になつてもらおうと思つて詫だよ  
えええ - - - - - なにその嫌な顔

君には拒否権は無いんだよこれが

まあ、そのお陰で色々な世界に行けるんだから  
良いじやないか！」

なんかこのオッサン……………ムカツク  
殺そうかな？

まあ殺さないけど？

殺しちゃつたら転生出来ないしね

「まあ、良こや

それじゃあ、早速だけど転生して薦めひづ  
原作の知識有るらしいから、なるべくブレイクしないように  
じやあ、行つてらっしゃい！

あああと、容姿は良くしといったからね

「おこオッサン！？」

いきなりかよ！待つて！

うわーなんか沈んでる！

あと、容姿良くしてくれて有り難う！

そして俺は、なんかよくわからない物に沈んだ

転生ゆめじこ（後書き）

頑張りました、頑張りましたよ

神様、文才欲しいです、下さい

ではまた次回

## プロファイル。ただのプロファイル（前書き）

今回は、プロファイルです  
変なところがあれば、言ってください  
直しますから

そして、既にです（ｑ）ｚｚｚ

ではじめ

## プロフィール。ただのプロフィール

名前  
鬼崎一真  
きざき かずま

年齢  
16歳

身長  
169センチ

体重  
58キロ

容姿

紺色の髪の毛、調つた中間的な顔立ち  
細身だが筋肉質な身体「細マツチヨ」  
周りからは「お前さ、女装したら多分かなり  
似合うだろうな」と言われたらしく  
つまり、ペルソナ3の男主人公である

性格

普段は、冷静で優しく、とても面倒見が良く  
一度仲間だと名乗る決めれば何がなんでも  
守るうとする  
だが、一度怒ると口調がとても荒くなる  
「つまり、一方通行さんになる」

技  
虚刀流

刀を使わない唯一無二の剣術流派

一真は、七花と七実の虚刀流をどちらも

使える

あと、神様のおまけで、七実が「コピーした  
忍法足軽が使える

## 魔力

魔法、妖術の類いを使う時に用いる力  
レベルとしては、ネギま！のナギを遙かに  
凌いでいるらしい  
普段は、抑えているらしい

## 気

ネギま！の氣とワンピースの霸王色の霸気を  
合わせた様なもの  
敵を氣絶させたり、肉体の性質を変えたり  
敵の動きを先読みしたり、  
魔力と合わせて肉体強化したり出来る  
だが、チートなため、  
ほとんど敵を氣絶、先読みしか使わない

## 身体と頭脳の限界点突破

最初は、行人より強い位らしいが、鍛えれば  
鍛えるほど上がるらしい  
頭脳は天才級らしいが

## プロフィール。ただのプロフィール（後書き）

はい、書きました  
こんなんで、大丈夫ですか？

ああ、ダメだ、眠いです。(\_ \_ \* ) ZZZ  
おやすみなさい

ではまた次回

海の上からスタートです！（前編）

明けましておめでたございます！

今日は、短いです

風邪を引いて仕舞いました

ではじめ

海の上からスタートです！

皆さん、久しぶり、鬼崎一真です！  
俺は今、海の上に居ます

あの糞神様のせいですね

「おい！糞神！」

何で海の上に落としたんだ！  
寒い！冷たい！」

『ん～～つるさいな

だつてさ、原作に沿つて進まないと、繋がりとかがさ可笑しくなる  
んだよ』

「知らねーよ！」

糞が！

つたくよ……………んつ？待てよ、原作道理だとすれば……  
…………まさか！

「おじオッサン、まさか」の後は？」

『その通り、嵐と津波だよ！』

「死ねや糞野郎～～！」

ザツババババ――――ン――――！

そして俺は津波に飲まれた

すず視点

ザサア……ザサア……ザサア……

「せーの一…………それつ　」

シユルルルル…………ぼちゅつ

「待つててねーとんかつ

今おいっしい、じちそう釣つたげるね

」

私の名前はすず

この島、藍蘭島の住人なんだ！

んでね、今、とんかつと一緒に釣りをしに来てるんだ――  
昨日は凄い嵐だつたし、凄いのが釣れるはず！

「」

「おお、来た！」

んんーーえいーーんこやーー

えええ - - - 人？  
……………人！！

「わつわつ大変つ！」

גַּם־כֵּן כָּל־עַמִּים

海の上からスタートです！（後書き）

次回は、一真視点からスタートです

きついです

ではまた次回

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7691z/>

---

左腕に十字架を……byながされて藍蘭島

2012年1月5日18時48分発行